

大阪市立大学  
学長金児暁司履

平成 22 年 4 月 1 日

(財) 伊藤科学振興会

理事長 古在由秀



拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

扱、当財団に於きましては、平成 22 年度の事業（43 回）として、化学の 1 分野を対象に別紙要領により研究助成金を贈呈いたすこととなりました。

就いては、貴学における関係分野（学部、研究所等）で実施されますそれぞれの研究課題のうちより、特に重要かつ適當と認められるものについて、研究助成候補者をご推薦頂きたくお願い申し上げます。

尚、ご推薦は各学部毎それぞれ 2 件以内に絞つてご提出下さい。

またご推薦の研究助成候補者につきましては、当財団で委嘱した、学識経験者から成る選考委員会で慎重審議の上、9 月下旬までには受贈者を決定いたします。候補者の推薦は、同封用紙（コピー可）により推薦分野を明記の上、正副 2 通を来る平成 22 年 6 月 20 日迄に必着で、下記宛お送り下さるようお願い致します。

敬白

### 記

- 1、 候補者推薦書にあります推薦者は、推薦大学の学長とします。
- 2、 尚、同一分野の指導的研究者（大学教授）の推薦書（用紙適宜）を添付される事を希望致します。
- 3、 ご提出頂いた候補者推薦書はお返しいたしません。
- 4、 本年 10 月 5 日迄に候補者宛当財団より採択通知のない場合は不採択とご了承願います。
- 5、 尚、当財団へのご連絡があります際は、10:00am～2:00pm の時間帯でお願い致します。
- 6、 候補者推薦書の送り先

〒143-0016

東京都大田区大森北 1-11-18 大森ハウス 402

財団法人 伊藤科学振興会 宛

## 伊藤科学振興会研究助成金贈呈要領

財団法人 伊藤科学振興会

- 1、伊藤科学研究助成金の対象は、自然科学の研究を行う者とする。
- 2、助成の対象者は、大学の准教授・講師・助教及びこれに準ずる者とする。
- 3、当面は物理学、化学、生物学、地学の4分野のうちから、各年度毎対象に選ばれた1分野とし、原則として合計3件の研究に対して助成を行う。
- 4、助成金一件当たりの目標額は100万円以内とする。
- 5、助成候補者の推薦は、毎年4月現在で、自然科学系の大学院過程を有する国・公・私立の各大学等に依頼し、各大学から推薦された候補者につき当財団の定める受贈者選考委員会規程に従って選考し、理事会において受贈者を決定する。その結果を推薦機関、団体の責任者に通知する。
- 6、研究成果については原則としてなんらの拘束も行なわないが、研究の経過等については、適宜な方法で報告を受けることがある。  
なお、研究発表の際には、伊藤科学振興会の助成金を受けた旨を明記し論文の別刷一部を当財団あてに送付されたい。

### 付 記

- 1、助成候補者の推薦は、各学部毎、2件以内にお願いする。
- 2、大学等への推薦依頼状は毎年4月初旬に発送し、助成申請の締め切りは6月20日とする。7月～8月にかけて選考委員会を開催し、9月下旬、理事会で受贈者を決定する。
- 3、助成金の贈呈（目録）は10月下旬東京で行う

## 財団法人伊藤科学振興会

### 財団法人伊藤科学振興会の設立とその経緯

財団の設立	昭和 43 年 2 月 16 日
設立の趣意	初代理事長伊藤隆男が昭和 42 年実業界（株式会社資生堂代表取締役社長）の第一線から退くに当たり社会への報恩のため、私財を投じ当時 1 億円を基金として設立
設立の目的	自然科学分野の若手研究者を助成振興し学術及び文化の発展に寄与する
寄付行為上の事業	自然科学（生物学、地学、化学、物理学の 4 分野）の研究を行うものに対する研究費の補助、研究助成の対象者は大学の准教授、助教及びこれに準ずる研究機関
研究助成金	平成 21 年度（第 42 回）までの累計実績は以下の通り  研究助成候補者推薦件数                    3147 件  研究助成件数                                356 件  研究助成金総額                            2 億 8 千 3 百万円